



とみすはら

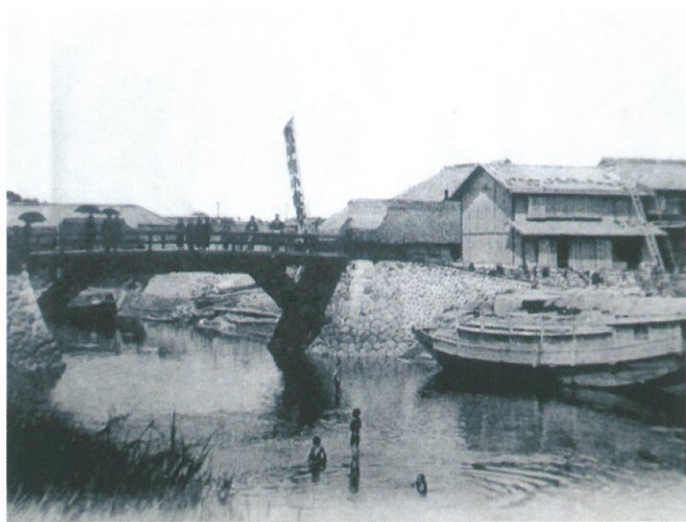
No.56

平成30年3月1日 発行：富洲原地区社会福祉協議会 編集：ホームページ委員会



伊藤平治郎ってどんな人？

伊藤平治郎は、明治13年（1880年）天白町（日永2丁目）の興正寺に生まれ、富田一色の伊藤家を継ぎました。（7代目）伊藤家は3代目平治郎の時にも八風街道を広げ、通りやすくするために努力しました。このような家を継いだ平治郎は、富洲原の町が、真ん中に運河が通り、生活に不便であることに気づきました。それは北には海運橋がありましたが、南には橋がなく関西鉄道（現在のJR東海）の富田駅へ出るにも大回りする必要があったからです。経費の問題や商店の反対など、いろいろな困難がありましたが、明治41年（1908年）ついに橋は完成しました。同氏の功績をたたえ「平治郎橋」と名付けられました。



2代目 平治郎橋（昭和8年改修）



平成30年2月1日現在

富洲原地区 H30/ 1/ 1 現在

面積

2.04 Km²（四日市市24地区内最小）

世帯数

3,832 世帯

人口

8,752 人（男性 4,308 人・女性 4,444 人）